

科目名 (科目番号)	公衆衛生 看護活動論Ⅰ (地域診断1) (時間割参照)	教員名	鈴木悠主 長堀智香子	学科等	看護	選択	履修年次	3
				曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2	
				授業形態	演習	オフィスアワー	授業開始時に提示	
授業概要	公衆衛生看護を展開する上で必要な地域診断の技法について講義する。また、既存の理論等を用いて地域をアセスメントし、健康課題の抽出と対策の検討ができるように演習する。							
目的・目標	目的:地域診断の意義や技法について理解し、地域診断の過程を演習で展開する。 目標:①地域診断の意義や技法(情報収集、アセスメント、評価等)を理解することができる。 ②地域診断の過程(既存資料や地区踏査情報の収集計画、健康課題の抽出、対策の検討、発表)を展開することができる。							
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	ガイダンス・地域診断とは	到達目標:地域診断の一連の流れについて理論を理解できる。 学習内容:地域診断の目的、基本的プロセス、計画査定との関連性について理論を用いて学習する。					
	2	既存データからの地域診断	到達目標:地域診断の情報収集、アセスメント方法が理解できる。 学習内容:地域診断に必要な行政資料、統計資料の収集とアセスメント方法を学習する。					
	3	地域診断演習(1)	到達目標:保健統計や既存資料から地域特性を理解できる。 学習内容:保健統計(人口動態や健康指標など)や既存資料(広報誌、行政計画など)から情報収集し、アセスメントについて学習する。					
	4	地域診断演習(2)	到達目標:地図からの情報によって、地理的な地域特性を理解できる。 学習内容:マッピングを通して社会資源や地理的情報のアセスメントについて学習する。					
	5	地域診断演習(3)	到達目標:保健統計や既存資料、マッピングから把握した地域特性および健康課題と対策を記述することができる。 学習内容:地域診断演習(1～2)で収集した情報を総合的にアセスメントする。					
	6	地区踏査方法・計画演習(1)	到達目標:地区踏査について理解し、地区踏査計画を立案することができる。 学習内容:地区踏査(地区踏査計画書、インタビューガイド含む)の目的と方法について学習し、地域診断演習(1～3)で収集、分析した情報をもとに計画を立案する。					
	7	地区踏査演習(2)	到達目標:地域で暮らす住民から地域の歴史、生活、保健医療福祉に関する情報を収集できる。 学習内容:地区踏査計画に基づいて、地区踏査を行う。					
	8	地区踏査演習(3)						
	9	地域診断演習(4)	到達目標:保健統計や既存資料、マッピング、地区踏査から把握した地域特性および健康課題と対策を考えることができる。 学習内容:地域診断演習(1～3)と地区踏査演習(1～3)で収集した情報を総合的にアセスメントする。					
	10	地域診断演習(5)						
	11	地域診断演習(6)						
	12	地域診断演習(7)	到達目標:健康課題と対策に関する発表準備ができる。 学習内容:既存資料から得られた情報から健康課題とその根拠や背景、対策についてまとめる。					
	13	地域診断演習(8)						
	14	発表会(1)						
	15	発表会(2)・まとめ	到達目標:地域全体の課題を共有し、総合的に捉えることができる。 学習内容:地域診断のまとめを発表し、他者の発表に対して意見、感想を述べることができる。					
成績評価の方法・基準	対面・オンライン共通 事前課題10%、地区踏査計画書(インタビューガイド含む)および実施記録10%、マッピング10%、グループ発表70%(評価表に基づく)							
教科書	保健学講座 第2巻 公衆衛生看護支援技術 第1版 (公衆衛生看護活動論Ⅲで購入済)			岸 恵美子 他 編		メヂカルフレンド社		
参考図書	必要時、紹介する							
教員からのメッセージ	地域をしっかりとアセスメントし、どのような公衆衛生看護活動がその地域に必要なのか、一緒に考えていきましょう。授業以外でのグループワークの時間が多くなると思いますので、計画的に課題に取り組みましょう。個人課題は、コメントを付して返却します。行政で勤務経験のある保健師がこの授業を担当します。オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知します。							